

第4回高石市行政計画審議会 議事結果概要

開催日時	令和2年1月24日（金） 午後2時30分～午後4時00分
開催場所	高石市役所 別館1階 会議室111
出席者	日野委員（会長）、西村委員、久保田委員
欠席者	山内委員、鈴木委員
議事	議題1 第2期高石市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について
資料等	次第 第2期高石市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案） 第2期高石市人口ビジョン（案）

発言者	発言内容
事務局	<p>定刻となったので第4回行政計画審議会を開催させていただく。 議事進行については、日野会長にお願いする。</p>
日野会長	<p>『第2期高石市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の策定に関して、当初の予定を変更して本日の開催になった理由を含めて、本日の進め方について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、本審議会における進め方について説明させていただく。本日開催させていただいたのは、第3回行政計画審議会開催時において各委員からいただいた意見を速やかに反映した上で再度審議いただき、審議会の案をとりまとめ、速やかにパブリックコメントを実施するためである。</p> <p>パブリックコメント実施後には、そのご意見も含め、最終的な審議会での答申案となるよう調整していきたい。</p> <p>本審議会の進め方としては、基本方針から順に、4つの基本目標ごとに、前回にご審議いただいた第2期総合戦略（案）からの変更箇所について説明させていただきたい。</p>
日野会長	<p>パブリックコメントに一定の期間を確保するというのもあって、本日の会議になったということで、変更箇所を中心に説明いただき、再度委員からのご意見をお願いし、パブリックコメントに供する案としてとりまとめたいとのことである。</p> <p>それでは、まず、第2期総合戦略（案）の変更箇所を基本方針について、事務局から説明を願う。</p>
事務局	<p>それでは、第1章の基本方針における変更から説明する。7ページであるが、国においても、第1期の基本目標「地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする」から「稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」へと変更され、「稼ぐ地域」という言葉が加えられた。本市においても、第2期において、「(仮称)高石市公民連携推進協議会」を立ち上げ、公民連携のリノベーションまちづくりを行うこと等から、基本目標2【働きやすい環境を整える】を【地域が稼ぎ、働きやすい環境を整える】に変更した。</p>

	<p>同じく、国の第1期の基本目標【時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する】から【ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる】へと変更され、「ひとが集う」というキーワードがあるが、本市も「駅周辺リノベーション活性化事業」として、南海本線高架化により高石市駅周辺エリアを多世代が交流し生活が豊かになるまちの拠点として活性化を図ること等から、基本目標4【住みたくなる環境を整える】を【人が集い、住みたくなる環境を整える】に変更した。</p> <p>次に、高石市がめざすべきまちのコンセプト【誰もが訪れ、住み続ける、生涯活躍できるまちへ】については、前回の審議会で委員からご意見をいただいたので、【みんなが集い、住み続け、生涯活躍できる魅力あるまち たかいし】に変更した。</p> <p>基本目標及びコンセプトの変更についての説明は以上である。</p>
日野会長	各委員、意見等をお願いする。
西村委員	みんなが集いというのは高石市の方なのか市外の方もという事なのか。
事務局	両方を兼ねている。
日野会長	外から呼ぶのも大事だが、市民の外出の楽しみも大切だろう。他に特に意見が無いようなので、基本目標1について説明を願う。
事務局	<p>基本目標1「子どもを産み育てやすい環境を整える」における変更について、ご説明させていただく。</p> <p>13ページの現状と方針については、前回の審議会で、現状から方針、方針から施策へのつながりについての問題提起を受け、再度精査し、本文の一部及び使用する統計資料を変更した。</p> <p>次に、16から18ページまでについては、前回の審議会で、第2期の主要施策がハグッドで良いのかとの問題提起を受け、再度精査し、「子育てウェルカムステーション「HUGOOD（ハグッド）」の更なる活用」・「妊娠・出産から子育て期における切れ目ない支援の充実」・「結婚のための出会いの機会創出」・「放課後児童健全育成事業の充実」から「妊娠・出産から子育て期における切れ目ない支援の充実」・「結婚のための出会いの機会創出」・「HUGOOD（ハグッド）」の更なる活用」・「放課</p>

	<p>後児童健全育成事業の充実」へと4つの施策の順番を変更した。なお、施策の内容及びKPIについては変更していない。</p> <p>最後に、17ページ「HUGOOD（ハグッド）」の更なる活用」の本文の内容を一部見直した。</p> <p>基本目標1「子どもを産み育てやすい環境を整える」の変更についての説明は以上である。</p>
日野会長	<p>施策の順番を変えたというのは、単独の事業というよりも、大きなテーマを持ったものにしたと理解したが、委員からの意見をお願いします。</p>
西村委員	<p>17ページ「HUGOOD（ハグッド）」の更なる活用」の本文の変更について、育児相談、就労支援を行うなどとあるが、ここでの就労支援は子育てしながら働いていく事の相談窓口という理解でいいか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおり。子育て期における、特にお母さま方のニーズを見るとフルタイムだけでなくパートで働きたいという方もおり、個々に対応するための就労支援である。マザーズハローワークや子供と遊びに来た際にあわせて、就労についてのアドバイスや情報提供をするという趣旨で追加している。</p>
日野会長	<p>「HUGOOD（ハグッド）」の更なる活用」のKPIについて、市外の利用者が高石市に住みやすそうと感じた割合、市内の利用者が高石市に住み続けたいと感じた割合、という事だった。</p> <p>これはこれでよいが、HUGOOD（ハグッド）は市内と市外の利用状況が半々くらいある。子育ての地域の拠点的な施設を高石市が持っているという見方もできるのではないか。つまり、地域において高石市が貢献できる施設や事業だということをPRしてもよいのではないか。その場合、KPIは市外の方についてはこの施設が地域に貢献していると考え、の割合にするなど、今後、高石市が地域に対してどういう面で貢献していけるのか、地域における拠点としての高石市と言われるような施策を展開していくかも大事になると思う。</p> <p>戦略ということなので、市の先端的施策としてどうしていくのか、今後の課題の材料としていただきたい。</p> <p>上下水道も広域に変わって、消防は堺の方にあるというように、どこの市も同じようなものをずっと持つような時代ではない。</p> <p>市の境界があるから囲い込みという事ではなく、むしろ、周りに対し</p>

	<p>てアピールできるのであれば、前面に出していった方がよいと思うので、繰り返しになるが、課題として考えてもらいたい。</p> <p>待機児童0人を実現するためには、指導員の数を増やさないといけない。指導員は資格を持っている人ばかりでなくてもいいと思う。支援スタッフを充実させていくことも含まれている内容と理解いただきたい。子供が減って0になるのではなく、子供も職員も増えてカバーが出来るように、積極的な子育て支援の実現をお願いする。</p> <p>保育士、幼稚園の先生への給与について、国の支援に市独自の上乗せしているところもあると聞く。市がどれくらい力を入れるのか。財源の問題はあるが、今後検討の余地があると思う。これも、今回の施策の修正という事ではなく、今後の課題として留意しておいて欲しい。</p> <p>それでは基本目標2について説明を願う。</p>
事務局	<p>基本目標2「地域が稼ぎ、働きやすい環境を整える」における変更について、ご説明させていただく。</p> <p>19ページで、前回の審議会で質問をいただいた「企業立地等促進制度」に関して、主な施策である「企業立地等促進制度の推進」との関係から、使用する統計資料を「企業立地等促進制度の年度別投資申請額」に変更した。</p> <p>次に、26ページから31ページまでであるが、前回の審議会で施策の順番についての問題提起を受け、再度精査し、「専門性を身につけるための資格取得支援」・「市内企業と就職希望者のマッチング支援」・「企業立地等促進制度の推進」・「創業支援」・「健康経営の促進」・「人材バンクの活用」・「地域資源のリノベーション」から、「地域資源のリノベーション」・「専門性を身につけるための資格取得支援」・「市内企業と就職希望者のマッチング支援」・「企業立地等促進制度の推進」・「創業支援」・「健康経営の促進」・「人材バンクの活用」へと順番を変更した。</p> <p>26ページの「地域資源のリノベーション」のKPIである（リノベーションスクール等の勉強会や地域創生人材支援講座等の参加者数）については、再度精査し、創業者の育成の要素が強いことから29ページの「創業支援」のKPIへ見直した。</p> <p>28ページの「企業立地等促進制度の推進」の本文については、先ほど述べたとおり、前回の審議会での質問もあり、前述の現状とのつながりも考慮して見直した。</p> <p>また、29ページ及び30ページのKPIについては、前回の審議会の数値の精査をとの意見を受け、再度精査し、目標数値を上方修正した。</p>

	<p>あわせて、日野会長から人材バンクの活用について、企業へのマッチングだけでなく、生涯活躍社会の実現に向け、幅広い分野において活用をとの意見をいただき、見直しを行った。</p> <p>基本目標2「地域が稼ぎ、働きやすい環境を整える」の変更についての説明は以上である。</p>
日野会長	今の事務局の説明に関して、意見等をお願いする。
西村委員	創業支援のKPIの18件というのは新たな創業なのか。
事務局	お見込みのとおり。新たな創業の数と考えている。
日野会長	令和6年度に18件ということはそこまでは傾斜になっているという理解でいいか。
事務局	お見込みのとおり。
日野会長	のべ件数はどの程度になるのか。
事務局	あくまで今の想定だが、累積で80件にいかない程度の創業をしていただけたらと考えている。
日野会長	<p>KPIについて、前回、鈴木委員からもずっと同じ数字はいかがなものかと指摘があった。このKPIについては数字そのものが問題ではないが、目標値と言うとラウンドナンバーが多い。18や16などは非常に具体的な数字となる。例えば、5年で80件ならR6年度で最低限18件として、それ以前の目標値は傾斜配分とするなど、今のKPIでも構わないが、市民に分かりやすい表現になるよう、可能であれば検討いただきたい。</p> <p>人材バンクの活用については、登録のための事業を実施しないのか。第1段階は、役所からの送付物などに人材バンク登録の案内を同封して登録を促すなどしないと、活用する人材がないことになってしまう。</p> <p>HUGOOD（ハグッド）など子育ての中で言うと、こちらも就労があったと思う。そこではお母さん方などの、また違った形の人材バンクになる。</p> <p>もともと、1行目にある「生きがい」の部分を頭につけてくれというお願いしたがまとまらなかったのか付かなかった。</p>

	<p>人材バンクを整備するための作業をいれていただきたい。可能であれば、退職者の生きがいづくりを含めた人材活用をめざした人材バンク整備の事業を明記することが望ましいと思われる。お金はたいしてかからないだろうから、少なくとも人材バンクを整備した上で、それを活用するということがわかるような形にできないかと思う。</p> <p>今、人材バンクがあるなら、それを活用してもらえばいいが。今の就業のマッチングはどのようにしていたのか。</p>
事務局	<p>現在の人材バンクについては、基本的に企業様とのマッチングということで、整備の方を整えている。</p> <p>今回は、企業様だけでなく、幅広い分野でまちづくり、地域貢献、そういったものに係る方の、地域と学校のマッチングということで幅広くできるように文言を変更した。</p>
日野会長	<p>今やっている事業のデータバンクはどうしているのか。</p>
事務局	<p>現在、登録していただいている方は、名前・住所・生年月日などの基本情報の他、資格等々を登録していただいている。資格が必要な企業がいればご紹介するようにしている。</p>
日野会長	<p>募集はどうしているのか。</p>
事務局	<p>HP やイベント等でチラシなどを配布している。</p>
日野会長	<p>趣旨をしっかりと説明した上で、募集を拡充し、活用の拡大を図って欲しい。できるだけ、何かの機会を活用して案内できるように配慮して欲しい。</p> <p>基本目標2に関して、エリアマネジメントについての専門員の意見はいかがか。</p>
事務局	<p>エリアマネジメントについて、「バリュー・リノベーションズ・さの」のマネージャーである西納久仁明氏と、「大東公民連携まちづくり事業株式会社」の代表取締役である入江智子氏の2人の専門員の方から話を聞いた。</p> <p>それぞれの専門員のご意見をご報告する。</p> <p>ちなみに、内閣府はエリアマネジメントを、「地域における良好な環境</p>

や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組」としている。

まず、西納久仁明専門員の意見からご報告する。特に、まちづくり会社の組成、多様な関係者と共に実施するまちづくりなどの部分について伺った。

「バリュー・リノベーションズ・さの」の業務例として、地域再生に貢献できるプレイヤーを発掘することをめざし、アーケード商店街を公園化した北九州市の「魚町サンロード商店街」の事例などで有名な「らいおん建築事務所」の嶋田洋平氏と協働しながら、地域に貢献できるプレイヤーのモチベーションに繋げていくようなエリアマネジメント等に取り組んでいる。

具体的には、エリアマネジメント推進事業として、まちづくり講演会を実施し、起業等に興味のあるまちのプレイヤーの発掘、モチベーションの創出につなげ、中心市街地での雇用機会の創出及び提供によって商店街に人が集う仕組みの構築をめざしている。

高石市の第2期総合戦略（案）にある地域資源のリノベーション施策等に関して、泉佐野市では普通財産は原則、売却方針としているため、活用できてはいないが、高石市では中間組織（（仮称）高石市公民連携推進協議会）の拠点として、市の遊休施設を活用することで、中間組織（（仮称）高石市公民連携推進協議会）の自立化に向けて、初期の投資や賃料等の固定費が低く抑えられるので、自走可能なスキームが構築しやすく、強みになるとのことだった。

また、施策の実施にあたっては、その地域の実情に合った戦略を立てることが重要であるとの意見をいただいた。

次に、入江智子氏からのいただいた話を報告する。特に、民間主導のまちづくり、地域経営、エリアのイメージアップ、ブランドの確立などの部分について伺った。

「大東公民連携まちづくり事業株式会社」の業務の一つに、「北条まちづくりプロジェクト」がある。これは市営住宅の建て替えを契機として、次世代につながる住宅地域の再生をはかるプロジェクトである。また、岩手県の紫波町のオガールプロジェクトで有名な岡崎正信氏などが入った「デザイン会議」を市が開催し、イメージパースを描くなど、大変先駆的な事業となっている。

また、住道エリアプロデュース戦略推進業務委託として、市から「大東ズンチャッチャ夜市」受注し、マーケットを開催されている。立ち上げ時には芦原橋アップマーケットなどを実施されたサルトコラボレイ

	<p>タイプの加藤寛之氏が入っていたとのことである。</p> <p>他にも「地域健康プロフェッショナルスクール」の実施や「健康 LABO」、「大東市地域包括支援センター」、「ウェブマガジン Nukui」などに係る事業を実施しており、これらで収入を得ているとのことだった。</p> <p>高石市の第2期総合戦略（案）にある地域資源のリノベーション施策等に関しては、まちづくり会社がエリアマネジメントの「事業主体」となるのであれば、その「事業計画」が必要であるとのことだった。組織が何で収益を上げ、どのようなメンバーで運営するのかと密接にかかわるためである。</p> <p>また、市が整備費用を持ち、以降の維持管理だけを担当する場合、従来のいわゆる三セクになりかねないため、大東市のアクティブスクウェアのように、どこが使うとしても使いやすいように、オーナーとして最低限必要な部分のみを整備するとか、専門人材の費用やリノベーションスクール等の勉強会の費用を市が交付金を充てるなどの方法もあるものの、あくまで期間限定の支援であり、注意していかなければならないとのことであった。</p> <p>組織体としても、駅前マルシェなどのイベントであれば協議会でも事業主体となることが可能であるし、民家空き家の活用であればもっと小さな会社が複数立ち上げることを期待して仕掛けた方が良いなど、まちづくり会社の立ち上げはあくまでも一つの手法であり、それありきではなく、高石市の経営課題解決に最適であり、かつ地域の実情からみて実現可能性の高いことなどを考える必要があるとのことだった。</p> <p>エリアマネジメントに対する考え方や姿勢、マネタイズの方法に関しては大いに参考にさせていただきたいと考えている。</p> <p>お二人のご意見を聞かせていただき、エリアマネジメントについては、様々な方法があり、他市の事例を参考にしつつ、それらの事例の表層だけでなく、置かれていた状況やマインド、タイミング、メンバーなどを分析し、なぜ実現できたのかを慎重に検討しながら、高石市の状況に合わせた施策としてローカライズし実施できるよう、理解をより深めていく事が必要になると感じている。</p>
日野会長	話を聞いて、具体的に今回の施策に活かせる部分はあったのか。
事務局	国の交付金は活用するが、それに頼るのではなく、本市における本場の課題をしっかりと見据えた上で、数的な理解も含めながら、本市にとって一番いい形を検討していく。特にまちづくり会社を経営するとなれ

	<p>ば当然収益事業が必要になってくるが、本市においてどのような形になるのか検討が必要である。大東市や泉佐野市とは人口も違えば立地条件も違うため、そういった部分も慎重に検討しながら実際の事業化に向けては、専門員、先進的な事例を実施されている方の話も聞きながら進めていきたい。</p>
日野会長	<p>協議会を立ち上げる「など」とあるが、何をするのか、協議会なのか会社にするのかなども今後、参考にしながら検討していくという理解をした。</p> <p>国の定義という説明もあったが、定義が本市のめざしていることと合わない可能性があっても、補助金のためにその定義に合わせることは吝かではない。しかし、元々、行政が公共の福祉を前提として、シビルミニマムの達成をめざして色々な基盤整備やサービスを提供するために、市民が税金を支払うという税制度が都市を育ててきた。しかし、財源が乏しくなってくると、税金を上げなくてはいけなくなる。あるいは、行政でやると制約がかかるので、三セクができた。しかし、もっとうまくやれるのではという事で、民間主導によるPFIという手法もでてきた。その中で市民からの反発も出てくるようになった。あるいは市民に身近な課題については、市民の理解の下で一緒に自分たちの生活環境をよくしていこうという市民協働の考え方も生まれてきた。財源を確保するには、PFIのように民間の資本を投資して、民間にプランニング、運用してもらってから、財産として市に返してもらおうという話もある。</p> <p>それらが合体して、地域をみんなでより良くしていこうとなった。エリアマネジメントはアメリカでは公園を対象とした例が多い。よくするにはお金が必要で、収益事業がいる。やり方はいろいろあるが、その目的を明確にする必要がある。</p> <p>センターを良くすることが前提で、再整備のプロセスがエリアマネジメントにつながるのなら、それも良い。単純に集客するというのであれば、エリアマネジメントにこだわらなくてもいろいろな方法がある。</p> <p>エリアマネジメントと呼ばなくてもいいが、国の交付金も上手く使いながら、アドバイザーの意見も含めて、元々の目的を達成できるようにうまく使い分ければよい。</p> <p>今後とも専門家には折に触れてアドバイスを受けられるのか。</p>
事務局	<p>国の交付金も使いながら、専門的な知見も含めて事業を進めていく。</p>

日野会長	それでは基本目標3について説明を願う。
事務局	<p>基本目標3「いつまでも健幸にすごせる環境を整える」における変更について、説明させていただく。</p> <p>38ページの「現状と方針」については、前回の審議会で、現状から方針、方針から施策へのつながりについて意見をいただいたので、再度精査し、方針の本文を一部見直しを行った。</p> <p>あわせて、41ページの本文も一部見直している。</p> <p>最後に、40ページの「健幸づくり事業の充実」のKPIについて、追加をさせていただいている。</p> <p>その他、事業の内容及びKPIに、変更はない。</p> <p>基本目標3「いつまでも健幸にすごせる環境を整える」の変更についての説明は以上である。</p>
西村委員	38ページで鉄道沿線まちづくりというものが、追加になっているが高石市においてはどのようなものか。
事務局	<p>高石市が事務局となり、近隣自治体、及びインフラ会社等と共に協議会を構成している。</p> <p>内容としては、単一市が全ての施設を持つということではなく、鉄道沿線に病院や商業施設などの高次都市機能を集め、各自治体で広域的に役割を分担するという考え方で、今、協議会で調査・研究をしていることから、その内容について記載している。</p>
西村委員	「HUGOOD (ハグッド)」を他市からも利用に来てもらう、というようなイメージでいいのか。
事務局	そういったネットワークも含め、広域的に施設等を利用していけるよう協力ができるか、というのが鉄道沿線まちづくり構想ということになる。広域行政連携という形で考えていただければと思う。
日野会長	<p>一方で、各自治体で策定している立地適正化計画もある。</p> <p>これは、人口密度が下がり、従来の公的サービスだとその効率が低下する、あるいは過剰投資になる。エリアに特徴を持たせて、集積させて公共交通で繋ぐという考え方である。しかし、これを各市ごとでやって</p>

	<p>も無理があるので、広域で機能分担をしていこうというのが鉄道沿線まちづくりになる。</p> <p>元々、過疎地等でも地域連携をしていかないと生活機能の維持が難しいということがあるため、ハード整備に限らず種々の分野で協定を結んで対応し始めている。あるいは、自然災害が増えてきている中で、防災・避難も含めて地域連携は重要であると言われている。そういう状況の中で、生活に必要な施設が使える仕組みを作っておかなければならない。</p> <p>その点では、高石市では上手くいっているからこそその課題がある。つまり、コンパクトなエリアを公共交通でネットワーク化するとの趣旨になっているが、高石市では福祉バスサービスが充実しているものの、誰もが利用できる公共交通となっていないということである。他市では有料のコミュニティバスで対応しているが、利用者が少なく、別の問題にもなっている。それを勘案すると高石市の福祉バスは上手くいっていると言えるが、今後、誰もが使える乗り物として、有料の公共交通を考えるのか、あるいは無料での対応の可能性を検討するのが課題と言える。誰もが使える交通をどうしていくか、充実と書いている中で、市としての判断がある。これは課題として認識しておいて欲しい。</p>
久保田委員	健幸づくり事業の充実の追加項目について説明を欲しい。
事務局	<p>医療・介護給付費の抑制額が令和6年度で2億2,600万円となることを達成したい。これは、国民健康保険の医療費を削減したいという事である。</p> <p>80～90歳代の健幸ポイント事業参加者数については、現在3,000名の参加者数を4,000名程度に増やしていきたいと考えており、その内、600人程度を80～90歳代の方と想定しており、全世代型の生涯活躍のまちとして、アクティブに活躍していただきたいという事から目標値を設定した。健幸アンバサダーも養成しようと考えており、身近な人から行動変容を促すために、健幸づくりに関する知識などを学んでいただくものとしており、令和6年度までに800人を養成するものとしている。</p>
久保田委員	現在、80～90歳代の健幸ポイント事業参加者率はどの程度か。
事務局	現在8%程度の割合となっている。
日野会長	在宅医療介護連携の推進について、KPIが専門職だけでいいのかとい

	う質問が前回あったかどうか。
事務局	ご意見いただいた部分も含め検討を進めているが、まずは、中心となる医療介護ケアマネ等の専門職、薬剤師会の訪問している薬局、歯科医師会の従事されている方も含めて、なるべくアンケートの中で幅広い専門職に課題等含めうかがっていきたい。
日野会長	連携数が気になるが、どのようなものを連携というのか。分かりやすい例があれば示してほしい。
事務局	<p>まずは医師会に設置した医療介護連携室への一般の方からの相談件数、地域包括支援センターへの医療機関、家族から相談のあった件数を合計としている。1期においてはそれが60件から100件弱の実績となっている。2期においては、関係機関が集まって、協議、連携を行いながら役割分担とルールづくりをまず行う。</p> <p>その中で、例えば、かかりつけ医はいるが介護にはかかっていない場合、かかりつけ医が訪問・在宅診療をやっているならば、従来からのネットワークであるのでチームになる。しかし、訪問・在宅診療をしていない場合にはチームにならない。ルール作りの中では、市で一旦受けて、医師会への訪問診療を要望している方に医師を紹介して、訪問してもらうようなことを考えている。介護についても同様である。</p> <p>そのようなコーディネートを実践しながら、その都度チームを作りたいと考えている。その際のルールも作っていく。それがスムーズに実施された割合をKPIとしたい。</p>
日野会長	チーム数などをKPIにするのもいいのかなと思う。
事務局	補足だが、上手くいけば、自然にチームが出来ていくので、件数は減っていくと考えている。
日野会長	<p>それなら尚更、チーム数でもいいのではないかな。専門家の方々の意見も聞きながら、代替りの指標も含めて検討して欲しい。</p> <p>それでは基本目標4について説明を願う。</p>
事務局	基本目標4「人が集い、住みたくなる環境を整える」における変更について、ご説明する。

	<p>55ページをご覧いただきたい。現状の部分の本文の一部を見直している。</p> <p>次に、62ページをご覧いただきたい。</p> <p>前回の審議会で、委員から、タブレットを1人1台整備した後のことも視野に検討も必要とのご意見をいただいたことを受け、主な施策について、教育全般にわたりICTの活用や新しい授業のスタイルを構築するという観点から、「教育のICT化の推進」と「少人数教育の推進」を統合し、「学力向上に向けた学びの推進」として変更した。それに合わせて、KPIの追加と目標数値も変更している。</p> <p>また、64ページの「地域活性化ブランド戦略による魅力の発信・発掘の強化」においても、KPIを追加し、さらに本市の魅力を発信していくための地域活性化事業に取り組んでいくこととした。</p> <p>次に、67ページの「子育て世帯への住宅支援」・「市内企業従業者への住宅支援」については、前回の審議会での委員から数値の精査をとの意見を受け、再度精査し、目標数値を上方修正した。</p> <p>最後に、69ページ「駅周辺リノベーション活性化事業」について、前回審議会においてKPIが抽象的とのご意見があり、事業の内容が固まり次第設定と見直している。</p> <p>その他、事業の内容及びKPIについては変更はない。</p>
日野会長	<p>今更だが、タブレットのところは元々学力向上がメインであったが、「全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問紙調査のうち、「これまでに受けた授業で、コンピューターなどのICTをほぼ毎日使用した」の回答の割合」や「タブレットを活用した授業時数」がKPIとなっている。全体としては、ICTを使えば、学力が上がるという理解なのか。</p>
事務局	<p>タブレットを使えばいいというよりは、効果的な場面で活用していく事が大切と考えており、ものが入って学力が上がるというものではない。まず、教員が有効に活用できるような環境であったり、研修体制等が必要ということもあり、そのためには、専門的なアドバイスをもらうICT支援員の存在であったり、メンテナンスをしっかりとし、教員がより効果的に使えるような環境を整えることが、学力向上に繋がると考えている。</p>
日野会長	<p>ICT活用講習会だとかの受講者数などが入ってもいいのではないかと。先生がいて、はじめて教育ができて、子供の学力が上がる。</p>

	<p>先生が使いこなせて、それらを使った教育プログラムをちゃんと作るということができれば、より効果的だということかと思う。</p> <p>現状では、タブレットを使えば使うほどいいというように、単純に勘違いしやすい。タブレットと直接つながらないが、各自治体でスマートフォンのゲームの上限時間を決めたりしている。一方で、そういうものを全く使わなければ、今の IT の時代に対応できなくなってしまうかもしれない。そういうことがある中で IT を使いこなすこと自体が生活上必要になってくるかもしれない。それは学力とは直接関係ないかもしれないが、生活のための必須アイテムになってしまう可能性がある。それに合った考え方や学力が必要になるのだろうと思う。</p> <p>そういう意味では、これはこれでいいが、教える側のタブレット活用方法の講習会参加者数、参加時間数などがあると両側で良いのではないかと思った。また検討をいただきたい。</p> <p>HP も質問があって、トータルではなく項目ごとに出したらいいのではという話もあったが、変更は無いようだがコメントはあるか。</p>
事務局	<p>KPI に直接上げてはいないが、5年間の内数としてそれぞれのページに何件アクセス数があるか把握させていただくような形で思っている。</p>
日野会長	<p>検討の結果だという事で理解はする。</p> <p>宿泊数については前に説明いただき、ベッド数から計算すると正しいということだった。</p> <p>最後の「駅周辺リノベーション活性化事業」や「海辺の地域活性化事業」については、事業がまだ明確でないため、それができた段階で何をもって評価するのか考えていただく。</p> <p>一部、代弁した部分もあるが、本日、山内委員と鈴木委員が欠席だが、事前に意見を聞いているか。</p>
事務局	<p>欠席の山内委員と鈴木委員から意見を預かっているので、報告する。</p> <p>まずは、山内委員の意見から報告する。</p> <p>「国の政策の一部変更に合わせて、高石市の一部、主要4つの方針の文言追記の改正については、理解した。</p> <p>また、総論として、基本的な方針における事業の拡充、継続、新規への取り組みによる今回の改正案についても了承した。</p> <p>今後、各論として、各戦略案に伴う具体的な事業実施に向けては、高</p>

	<p>石市と商工会議所の調整は必要不可欠である。</p> <p>事業所の意見等を踏まえ、各商工業の課題や雇用のニーズなどに即した事業実施、高石市ブランドなどの開発のために、行政とともに商工会議所でも全力で協力することを伝えて、意見とさせていただく。」との意見をもらっている。</p> <p>次に、鈴木委員の意見を報告する。</p> <p>「全体として、数値目標の向上や明確化も図られており、計画として良くなっている方向と言えるのではないか。」</p> <p>とのご意見だった。</p>
日野会長	<p>意見としてはもっとあったのかもしれないが、修正案について納得されたということかと思う。</p> <p>数字を精査して、上方修正しているものが多かった。それはそれでいいが、目標であるため、最終この数字まで行こうというものであり、最初からずっと1であるとか、先ほどあったように、収束しなければいけないものもあり、その指標の性質によって違う。</p> <p>ここに行くのにトータルでこれだけをめざしたい、という時に、年々どのような戦略で行くかという事なので、定期的に行くようなものもあれば、ステップ関数のように始めは準備で、段階的にあがっていくようなものもある。これを平均値で表すと、ある年は達成、ある年は未達成というふうになってしまう。そういう場合はトータルでここをめざしているということが分かる方がいい場合もある。評価指標とその値の設定については、施策事業の性格も十分ふまえていただきたい。あまり背伸びしなくてもいいと私は思う。上方修正したというのものもあるが、別に120%でもいい。目標をあげて目標値 80%とどちらがいいのか、行政の施策展開のための戦略としてどのように考えていくかということである。</p> <p>我々は、こんな達成レベルでいいのかという話も意見として出すので、あえて背伸びは必要ないかと思う。今後の検討の際には、そういうところも考慮していただければと思う。</p> <p>最後に、西村委員、久保田委員、コメントがあれば。</p>
西村委員	<p>今回、見直ししていただいて、この内容で広くパブリックコメントに</p>

	かけて進めていただけたらいいかと思う。
久保田委員	<p>おおむね、計画としては問題ないところまでできていると思うので、これで結構かと思うが、政策的にはもっと幅広くやっているの、これには入っていない隠れた部分もたくさんあることから、その辺が見えると良いと思う。5年間あるので都度、付け加える部分も出てくるかもしれない、というように思うのでよろしく願います。</p>
日野会長	<p>欠席の委員の方も含めて、本日提示の案でおおむね了解をしていただいた。一部、可能な範囲での検討をとの意見もあったが、現段階では修正が無くても問題ないとの判断でよいかと思う。</p> <p>最終版をこの後作成し、市民の意見が聞けるようなパブリックコメントの準備をしていただきたい。</p> <p>市には総合計画がある。総合計画がある中に、都市計画マスタープランなどの分野別の基本計画がある。</p> <p>それに対して、総合戦略とは何か。各基本計画の中の各分野の主要施策を積極的に実施するが、全部は無理なので、この分野はこれを前面に押し出そうという戦略を持つ。それが本来、この総合戦略であるべきと考える。</p> <p>何かを達成しようとするために、どれからどんな順番で進めていこうかというのが戦略である。</p> <p>その戦略として、本案が正しいのかという見方もあるというふうに考えてもらえればいいと思う。</p> <p>国や府の方針も含めると、機能分散しながら、地域と連携するようと言われている中、市として独立してやっていくのか、小さいが大きな都市よりも一部において強い機能を持って発展していこうとするのか、そういうところが本来の戦略である。そういうところが見えたら、他市はそこまでやっていないと思うので、よりいいものになるのではないかと思う。まだ、先に続くなら、そういうことも念頭に置いて、若い人の知恵も入れて原案を作ってもらえると有難い。最後をお願いとして申し上げる。</p> <p>最後にスケジュールをお願いする。</p>
事務局	スケジュールとしては、本日の内容をふまえ、できれば本日中にパブ

	<p>リックコメントを開始できればと思っている。2月20日までの4週間パブリックコメントをさせていただきたいと考えており、前後して、ご審議いただいた最後の答申案をとりまとめたい。</p>
日野会長	<p>パブリックコメントの意見を含めて、必要があれば修正し、それもパブリックコメントの意見1個1個に答えるような形はやめて欲しいが、この部分に関してこのような意見があつて、それに対しどう考えているか、良い意見があれば一部修正したということはあると思う。それらを含めて審議会を開催するのか、その辺りのことを確認したい。</p>
事務局	<p>本日いただいた内容を反映させ、本日中にパブリックコメントを開始させていただいたとしたら、2月20日前後という事になるが、その間に出てきたご意見が、中身を変えることを検討しなくてはならないとなれば、非常に申し訳ないが、もう一度、審議会をお願いするということになる。そういった部分がなければ、会長にご相談させていただいて、また各委員の方にも、出てきたパブリックコメントの意見をご報告し、その部分はどのような形で反映するか、ご了解をいただいた上で、審議会を開かないで、答申案をまとめさせていただくということもあるかと思う。今後の意見をふまえて判断させていただければと考えている。</p>
日野会長	<p>もし、ご意見をいただいて、検討していただかなければならない案件が出てくれば、20日より前に審議会を予定したい。特段、大きな変更を伴うような意見が無ければ、パブリックコメントの結果を各委員に報告して、その上で原案のとおりでいいかの確認をして、問題なければ会長の方で答申を市長の方にお届けするという形で、各委員もよろしいか。</p> <p>それは書面での会議もしなくていいのか。オーソライズする際の形として。考えておいて欲しい。</p>
事務局	<p>了解した。</p>
日野会長	<p>我々はそれでもいいと思うが、諮問していただいて答申する最後の案を会議を開催せず決裁していいかの確認をして欲しい。書面決裁でも構わないとは思いますが、形としてどうするかは事務局でご検討いただきたい。今の形であれば、審議会をするなら、20日より前という事になるということで理解した。</p>

事務局

今後のスケジュールは先に報告したとおり。